

要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会の実施報告について

1 目的

自ら避難行動をとることが困難な要配慮者（高齢者・障がい者）にとって、風水害時に備えた日頃からの避難に対する準備や心構えは、非常に重要である。そこで、自分や家族の避難行動計画であるマイ・タイムラインを作成することで、風水害に対する防災意識の一層の向上を図り、要配慮者が適切に避難行動をとれるようにするため、昨年度に引き続き、講習会を実施した。なお、今年度は、個別避難計画の作成についても併せて周知を図った。

2 実施報告

(1) 日時・会場・参加者数等

回	日時	会場	対象者	参加者数
1	8月3日（水） 9：30～11：30	オンライン形式※	高齢者及び障がい者の支援者等（地域包括支援センター、介護事業者、障がい福祉サービス事業所等）	96団体
2	8月3日（水） 16：00～18：00			
3	8月23日（火） 10：00～11：30	オンライン形式	要配慮者及びその関係者	9名
4	8月29日（月） 10：00～11：30	消費者生活センター 2階大集会室		12名
参加者合計			96団体、21名	

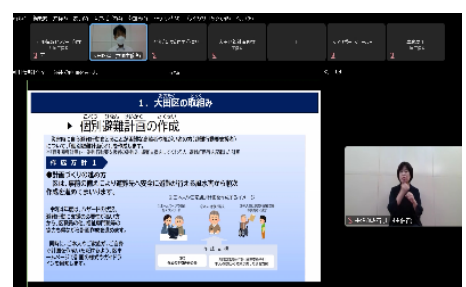
※…消費者生活センター2階大集会室に視聴会場を設置

(2) 講師

一般財団法人 河川情報センター職員 他

(3) 内容

- ア 大田区ハザードマップ（風水害編）について
- イ 区の災害時要配慮者対策について
- ウ 要配慮者向けマイ・タイムラインの作成について
- エ 個別避難計画について



(4) 受講者の声（抜粋）

○要配慮者及びその関係者

- ・ハザードマップの見方がわかり、居住環境によっては必ずしも避難をしなくても良いことが理解できた。
- ・浸水時間の長さに驚いた。家電等の移動も検討したい。
- ・避難にあたって、「逆算」する考え方等、勉強になった。
- ・具体的な行動スケジュールを家族で共有できるツールであり、当日は落ち着いて避難等の適切な行動がとれると思った。

○支援者等

- ・台風時の意識付けとして、利用者に作成を進めたいと思った。
- ・利用者の特性によっては災害時のイメージが難しい方もいるため、ご本人に合わせた計画作成の援助が必要と感じた。
- ・利用者に避難計画等の説明を行うものの、中々理解が進まない。災害発生時の自助の重要性について様々な方法でアプローチを続けていきたい。